

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040300		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	市営住宅維持管理事業		予算事業名	公営住宅維持管理事業 優先度 3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至		担当者名	宇久 勝志
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		公営住宅整備事業		雇用促進住宅取得事業				
公営住宅管理事業								
根拠法規及び関連法規		公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所地又は勤務地を有する者						
	誰(何)を対象として	住宅に困窮する低額所得者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。						
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)		事業完了予定年度	(年度)		

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で提供する。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	募集戸数	戸	19	11	10	8		
	応募者数	人	7	4	2			

3 投入資源

		会計区分	一般会計						事業費単位:円
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.700	0.676	97	0.684	101	0.560	82	
	臨時職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.184	148	
支出内訳	人件費	6,132,912	5,826,332	95	5,877,922	101	5,286,517	90	
	事業費	9,475,322	43,585,093	460	6,999,496	16	10,363,000	148	
	合計	15,608,234	49,411,425	317	12,877,418	26	15,649,517	122	
財源内訳	国庫支出金		18,490,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	20,408,000	19,146,900	94	18,716,000	98	15,873,000	85	
	一般財源	-4,799,766	11,774,525	-245	-5,838,582	-50	-223,483	4	
合計	15,608,234	49,411,425	317	12,877,418	26	15,649,517	122		

※ 事業の進捗状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	事業費単位:円
全体進捗率	事業費累計					/
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率							
指標説明(式)		応募者数/募集戸数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0.37	0.37	100.0	0.2	54.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

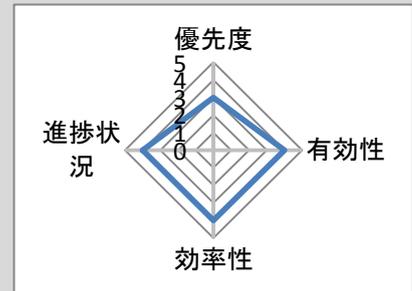
指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費／管理戸数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	59,603	59,603	100.0	59,603	100.0	59,603	100.0	
	実績	59,551	38,953	65.4	43,114	110.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性			
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給	
効率性	コストの節減	老朽化しており、修繕費が高つく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	H24度に建替計画を策定したが、財源的に厳しいものがあるため、見直しを含め、現状どおり予防保全的な修繕を実施し、コスト縮減に努める。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	H24度に建替計画を策定したが、財源的に厳しいものがあるため、見直しを含め、現状どおり予防保全的な修繕を実施し、コスト縮減に努める。

配点	25
総合評価	18

(2) 27年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	定期点検により現状を把握しながら適切な修繕及び改善を実施することで、市営住宅の安全確保を図る。
見直し事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持